

P 8 若年性認知症の現状と課題

◎鷲見幸彦 (社会福祉法人仁至会 認知症介護研究・研修大府センター)

P12 《座談会》
若年性認知症の人と共に
—暮らしやすい地域をつくる—

出席者

- ◎永田久美子さん (社会福祉法人浴風会 認知症介護研究・研修東京センター) =司会
- ◎服部春香さん (御坊市健康福祉課)
- ◎石毛幸子さん (上草柳・中央地域包括支援センター)
- ◎小野寺 朗さん (わすれな草の会 (若年性認知症本人・家族ミーティング))



▲小野寺 朗さん



▲永田久美子さん



▲服部春香さん



▲石毛幸子さん

若年性認知症 の人を地域で 支える

わが国では、若年性認知症の人の数は約3万6千人とみられる。国は令和元年6月に「認知症施策推進大綱」を取りまとめ、都道府県ごとに若年性認知症支援コーディネーターを配置するなど支援体制を整えている。「認知症になったら人生終わり」という誤解が根強く残る一方で、当事者からの情報発信も盛んになってきており、地域での認識は変わりつつある。

特集は、若年性認知症の現状と課題を概観するとともに、保健師と当事者の座談会で、当事者や家族を地域で支えるための方策を探る。

forget-me-not